



精神科医 瀬戸 睿

「恋をしているの?」

ある寒い朝の診察でした。いつもは明るさをにじませている若い女性が少し沈んだ表情で「先生に相談したいことがあるんです」と切り出しました。「何なの?」と聞くと「実は私恋をしているんです」と恥ずかしそうに俯いて話し始めました。

会社での飲み会で知り合い、付き合いが始まってお互いに好きな関係となっていて、結婚しようかと

という間柄になった。そこで初めて、自分が統合失調症で通院していることを打ち明けた。彼は、びっくりしながらも「君が病気でであろうと何であろうと僕は君のことを愛しているから結婚しよう。僕も君なしの人生は考えられない。君を支えていくから君も僕を支えてくれ」と言った。

私達は、親にそれを打ち明けました。進歩的な考えの親なので、言えはわかってくれると思っていたのに「お前は病気を持っているんだ、今はよくても出産や子育てをし

なければならぬ。そんな大変なことが待っているし、それで病気が悪くなることもある。親としては反対だ、恋だけに留めなさい」と言われる。私はどうしたらよいのでしょうか?との相談でした。

皆さんならどう答えますか?

『くおくれの風』(越谷市の精神医療・福祉を考える会)では、今度『障がいがあっても恋したい!』という題で講演会を開きます。この大切な問いにどう答えたらよいのか、真剣に話し合います。どうぞ(参加下さい)。

質問
50歳の会社員です。父が脳梗塞になったことがきっかけで、母がうつ病と診断されました。精神科でかなりたくさん種類の薬を処方されて飲んでいきます。母はこれまで薬を飲むことがあまりなかったこともあり、体調が良くないと言っています。医師に話すとき、薬を飲まないで、精神状態が不安定になって病状が悪化すると言われました。薬は対処療法のように思いますが、それだけで治るものでもありません。まず誘因となった事情を医師と本人、ご家族でよく話し合い、どう対処すればよいのかを考えることをお勧めします。

相談の回答
うつ病と言われたらそうですが、うつ病でも個々人かなり違いがあり、一括りにして薬も違ってくると思います。しかし、たくさん種類の薬を飲ませる必要はありません。

家族などの周りの人の支えも大事です。薬をたくさん出す医師も信用しない方がよいでしょう。



医療法人社団 俊睿会

南埼玉病院

精神科・神経科・心療内科・デイケア

越谷市増森 252 URL <http://www.minamisaitama.com>

☎ 048-965-1151